真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月25日

事務事業名	スマートインターチェンジ整備調査研究事業		担当課・係	建設部　都市計画課　計画係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連するSDGs･DX	DX
施策名　No	3	道路ネットワークの整備		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	国等打合せ回数	回	6					

事業内容

道路ネットワークの整備を促進し更なる利便性の向上を図ることで、本市の観光の振興や産業の活性化につなげることを目的に、北関東自動車道にスマートインターチェンジの設置に向けた調査研究を行う。

【概要】
・スマートインターチェンジの設置に向けた検討（先進地視察）
・国、県など関係機関との協議
・関東地方整備局における相談会への参加
・栃木県インターチェンジ及びスマートインターチェンジ整備促進協議会への加盟及び取組（要望活動等）
・スマートインターチェンジ広域的検討業務委託（R6～R8）
　（R6：課題検討及び交通量推計、R7：整備効果の検証等、R8：費用対効果の検証等、R6～：関係機関との協議資料の作成）

・R9以降に国や県との協議を踏まえ、候補地の絞り込み（決定）

前年度の課題（Check）

前年度事務事業評価なし。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・国、県など関係機関との協議等
　県打合せ（5月、7月、11月、1月）
　スマートIC整備促進協議会を通じた国への要望活動（6月）
　国相談会参加（7月）

・スマートインターチェンジ概略検討業務委託
　整備効果の検証
　費用便益比の算出（分析）
　採算性の検証

【2】結果と課題（Check）
令和7年度の整備効果の検証を基に、候補地の絞り込みを行った。
浸水対策とそれに伴う事業費について、国と協議しながら検討を進める必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
浸水対策について、国などと協議をしながら令和8年度の検証の中で検討を進める。

(2) 長期的な計画で検討すること
令和8年度までの業務を踏まえ、県や国と協議を継続する。